

浜

岡原子力発電所の停止要請がや
つと実現。これをきっかけに未
来の政治潮流は変化していく、いや、
政権内に身を置く者として「変化させ
ていかなければ」と決意を新たにした。

少なくとも自民党政権では成し得な
かった。浜岡原発停止要請を発表した
時「全ての原発を止めるべき」「電力
は大丈夫か」など反応は様々。しかし
実際に「止まった」事実はどう動かな
い。ここから未来をどう創っていくの
か、そう、これからが本当の勝負！

自民党などが内閣不信任案を提出し、
与党議員含め過半数の同調者が出るか
どうか、と動き回る議員たちがいる。
「政権は大丈夫かしら？」とある政権
内幹部に問うと「エネルギー政策転換
の道筋をつけるまで政権を明け渡すわ
けにはいかない」ときっぱり。

政府の原発対応への批判は厳しい。
しかし、ある意味今の政権は、ひとた
び事故を起こした時の原発の恐ろしさ
が骨身に沁みているとも言える。違う
人たちが政権を担った方が良くなる
という人もいるだろう。でも一方、エネ

浜岡原発がやっと止まった！
エネルギーデモクラシーの実現へ



ルギー転換に抵抗する勢力の「巻き返
し政権」になる可能性だつてある。

中央集権・独占型ではなく地域分散
型のエネルギー政策への転換＝「エネ
ルギーのデモクラシー（民主化）」の実
現は、社会全体の民主化と情報公開、
そして市民の政治・経済への参加促進
につながる。世界中で立証済み。私も
含め、現政権にはそこまでの道筋をつ
ける責任がある。抵抗も摩擦も大きい
けれど、これだけの犠牲を払って、元
の木阿弥に戻すわけにはいかない。

仙台、七ヶ浜、盛岡、遠野、花巻、
野田、宮古、大槌、塩竈、大船渡、陸
前高田、気仙沼、南三陸、女川、石巻、
亘理、山元、相馬、福島、いわき、郡

山と被災地を回っている。先日は遠野
の「まごころネット」へ。体育館（女
性は和室）にはボランティア一五三人
が宿泊し、私も秘書官も寝袋持参でこ
ろ寝した。「辻元らしいね」と声をか
けられたのは神戸で一緒だった若者。
「9・11直後、ベシヤワールで会った
よ」というNGOの女性に出会ったの
は陸前高田。被災者支援は全国のNP
O・NGOの総力戦になっている。

そんななか、新しい動きも。宮城で
は「ボランティア団体・国・県・自衛
隊」の四者連絡会が立ち上がった。炊
き出しや物資配布、女性や子どものケ
アなど様々な課題を協議。約五〇〇団
体が加盟する「東日本大震災支援全国
ネットワーク」主催のNPO・NGO
と政府の定期協議が仙台で開催され、
私も担当参事官と参加。「経済的に苦
しくなってきた」との訴えが多数。

そこでNPO法改正と税額控除実現
の税制改正がますます重要に。前者は
全党の党内手続きが終了し、衆議院内
閣委員長提案で全会一致に持ち込む最
終段階の根回し中。税制改正は民・
自・公で協議中。持続可能な被災者支
援のためにも何としても国会での成
立を。そしてエネルギーデモクラシー
と新しい公共、この二つで日本を変え
なければ。（つじもと きよみ・衆議院議員）